



おうみしょうにん 近江商人クイズ

近江商人ってどんな人でしょう。

ひけつ ごうしょう さんぽう
商いの秘訣は？豪商になるには？三方よしへ何？？

クイズにチャレンジして近江商人を知ろう♪



Q1 近江商人はどのような場所を中心に商売をしていた？

- ① 滋賀県内 ② 滋賀県以外の町や村 ③ 出身の町でのみ

Q2 日野商人、八幡商人、五個荘商人のうち最も早い時期から活躍したと言われる商人は？

- ① 八幡商人 ② 日野商人 ③ 五個荘商人

Q3 「千両店」と呼ばれる小規模店を全国各地に数多く出店した商人は？

- ① 五個荘商人 ② 八幡商人 ③ 日野商人

Q4 城下町ではなく、農村集落から出た商人で、主に呉服や麻布などを取り扱っていたのは？

- ① 八幡商人 ② 五個荘商人 ③ 日野商人

Q5 お店で商いの見習いをする若い人たちのことを何という？

- ① 丁稚 ② 番頭 ③ 主人

Q6 近江商人の稼ぎ方として正しいのは？

- ① ギャンブルで大儲けする ② 安い商品を高く売る ③ こつこつ働く

Q7 近江商人は商いで成功したお金は何に使っていましたか？

- ① 道や橋の建築などの公共工事 ② 立派な衣服 ③ 毎日の豪華な食事

Q8 近江商人が商品を運ぶ際に肩に担ぐ道具の名前は？

- ① かつぎ棒 ② てんびん棒 ③ 背負い棒

Q9 近江商人の家に伝わる家訓はどのような事が書かれているか

- ① 簡単にお金をかせぐ方法 ② なまける方法 ③ 商売の心掛け

Q10 近江商人が大切にした商いの精神 “三方よし”とは「売り手よし」「買い手よし」とあと1つは？

- ① 商品よし ② 世間よし ③ 縁起よし



おうみしょうにん 近江商人クイズ

近江商人ってどんな人でしょう。

ひげつ ごうしょう さんぼう
商いの秘訣は？豪商になるには？三方よしつて何？？

クイズにチャレンジして近江商人を知ろう♪



Q1 近江商人はどのような場所を中心に商売をしていた？

- ① 滋賀県内 ② 滋賀県以外の町や村 ③ 出身の町でのみ

A ② 近江商人は滋賀県に本店や本家を置き、他府県で商売をしました。

Q2 日野商人、八幡商人、五個荘商人のうち最も早い時期から活躍したと言われる商人は？

- ① 八幡商人 ② 日野商人 ③ 五個荘商人

A ① 江戸時代前期に活躍し、江戸の中心街である日本橋通には八幡商人の大店が軒を連ね、
そのほか京都・大阪をはじめ北海道から東北、関東、中部、中国、九州地方にいたるまで出店を開設しました。

Q3 「千両店」と呼ばれる小規模店を全国各地に数多く出店した商人は？

- ① 五個荘商人 ② 八幡商人 ③ 日野商人

A ③ 日野商人は行商と店舗開設により活動の場を広げ、小規模であるが沢山の店舗をかまえ、
それを拠点として市場を開拓しました。

Q4 城下町ではなく、農村集落から出た商人で、主に呉服や麻布などを取り扱っていたのは？

- ① 八幡商人 ② 五個荘商人 ③ 日野商人

A ② 五個荘商人は明治維新以降は、営業の本拠を京都・大阪・東京に移して、
国内はもとより海外にまで進出しました。

Q5 お店で商いをする若い人たちのことを何という？

- ① 丁稚 ② 番頭 ③ 主人

A ① 12歳頃に丁稚としてお店に入り、住み込みで共同生活を送りながら商人としての心構えや必要な知識を
学びました。

Q6 近江商人の稼ぎ方として正しいのは？

- ① ギャンブルで大儲けする ② 安い商品を高く売る ③ こつこつ働く

A ③ 「始末してきばる」を信条とし、信用と信頼を大切に、誠実な商いをめざしました。

Q7 近江商人は商いで成功したお金は何に使っていましたか？

- ① 道や橋の建築などの公共工事 ② 立派な衣服 ③ 毎日の豪華な食事

A ① 道路や橋、治水事業や学校建設など、社会のために有意義になることに自らの商いで得た利益を還元していました。

Q8 近江商人が商品を運ぶ際に肩に担ぐ道具の名前は？

- ① かつぎ棒 ② てんびん棒 ③ 背負い棒

A ② 近江商人の象徴的な道具で、てんびん棒を肩に全国に行商しました。近江商人の里には「近江商人の千両棒」ということわざがあり、天秤棒一本で少ない元手でも商いを始めて、やがて千両をも稼ぎ出すという意味です。

Q9 近江商人の家に伝わる家訓はどのような事が書かれているか

- ① 簡単にお金をかせぐ方法 ② なまける方法 ③ 商売の心掛け

A ③ お金儲けをするための特別な秘策やアイデアが書かれているのではなく、
信用に足る商人になるためにどうあるべきかという心がけが書かれています。

Q10 近江商人が大切にした商いの精神 “三方よし” とは「売り手よし」「買い手よし」とあと1つは？

- ① 商品よし ② 世間よし ③ 縁起よし

A ② 商売は売り手も買い手も適正な利益を得る取引でなければならない、そしてその取引は、
地域社会全体の幸福につながるものでなければならないという、共存共栄の精神を表しています。